

持続可能な寝具生産と消費の形態「RENMEN®」

IWATA
OUR CIRCULAR FLOW DIAGRAM



プロジェクト概要

持続可能な寝具生産・消費を目指すプロジェクト

衣料や寝具などの繊維産業は原材料の調達、生地や製品の製造、輸送から廃棄に至るまで、環境に多大な影響を与えていることについて、寝具メーカーである株式会社イワタでは問題意識を持っていた。

株式会社イワタでは、サステナビリティ実現に積極的に取り組む中で、寝具生産と消費の形態の確保に繋がりたいと考え「RENMEN®」(連綿)プロジェクトを始動させた。

「RENMEN®」では、資源の効果的利用、地産地消、リサイクル、アップサイクル、再生可能エネルギーの活用、生産プロセスの見直し、廃棄物の削減と循環などを目指して、様々なプロジェクトを実施し、環境負荷の低減に取り組んでいる。



<天然毛から生じる断片や塵を集めて肥料に再利用>



<羽毛を再利用し、循環につなげる試み>

Rethink Designのポイント

生産段階で発生する綿のハギレに着目し、複数企業と連携して実現したRENMEN Cotton

<Rethink: モノ自身やその関わり方に対する価値の捉えなおし>

- 「RENMEN®」のプロジェクトの内、RENMEN Cottonでは、生産段階で発生する綿のハギレに着目。

<Design: 価値をデザインするまでの歩み>

- 寝具は生地を縫製し、中わたを充填して製造するが、生地の検反工程で織りキズ、汚れ等が発見された部分は裁断時に取り除く。また、用尺の足りない生地や生地の端等はハギレとなる。
- こうした裁断くずを捨てることなく集め、再度紡績して糸に活用。
- 再度糸に戻す工程では、パージンのコットンを足して糸にしている。その糸を今治地域の協力企業に届け、今治基準のタオルにして、製造・販売。
- 自社工場ではハギレが出てからタオルになるまで、反毛業者、紡績業者、製織業者、縫製業者と複数の企業が関わり、実現に至っている。

プロジェクト関係者

(株)イワタ	企画・販売
浅野燃系(株)	再資源化協力(燃系・タオル製造)
(株)BPLab	回収

※RENMEN Cottonの関係者を記載

